

活動報告

団体名	生活協同組合くまもと
活動名	仮設住宅等の被災者が孤立化しないためのコミュニティづくりの継続支援
活動期間	2017年7月～2018年3月
活動の成果	<p>『こーぶ喫茶』の開催から1年を過ぎたので、仮設の方々も生協くまもとの赤いエプロン隊の来訪を待っていて下さるようになりました。また、活動を始めた頃には仮設の方々との会話にドキドキしていたサポーターも自分たちの名前や顔を覚えてもらえるようになり、ずいぶん関係がほぐれてきたように思います。</p> <p>サロンの内容についてもサポーターが自主的に考えてきたり、進行をしたりできるようになってきました。</p> <p>仮設の方々も、企画の内容に自主的に参加し手伝ってもらえるようになってきました。参加者のほうから工作の内容にヒントをくれたり、自分の作った作品を持ってきて教えてくれたり出来るようになってきました。仮設の参加者の自主自立の前進ではないかと思えます。また、仮設でのサロン活動に参加しているサポーターも、「自分が必要とされているように感じます」「仮設の方々の笑顔が自分の元気の素になっています」・・・など支援者にとってもこの活動が力になってきたこと嬉しく思います。</p> <p>震災から2年経とうとしている今、仮設の中でもこれまでと違ったいろいろな問題が見えてきました。少しずつ仮設にお住まいの方の数も減ってきています。</p> <p>私たちは、そんな仮設の方々に少しでも笑顔が出るよう企画の工夫などを考えていきたいと思えます。また、サポーターの活動継続の意識が下がらないように研修や交流会を企画していこうと思えます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>2年にわたり支援活動が継続してこられたのも、皆様の寄付のおかげだと感謝しております。</p> <p>仮設の方々も接してお元気そうに感じるのですが、自宅再建や災害復興住宅のこれからの住まいの話になるとまだまだ不安をお持ちの方も多いうように思えます。他県からのボランティアなどが減ってきているので、仮設の方々が不安を感じないように私たちも努力していく考えでおります。</p> <p>仮設がゼロになりみんなが安心して住めるようになるまで、もうしばらく私たちの支援活動にご協力を頂けたらと思えます。今後ともご支援よろしく願いいたします。</p>

(活動のようす)



